

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	長野美術専門学校
設置者名	学校法人クリエイティブA

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
文化教養専門課程	com. デザイン総合学科		168	13	
文化教養専門課程 (職業実践専門課程)	ビジュアルデザイン科 3年制		112	10	
	ビジュアルデザイン科 2年制		72	7	
文化教養専門課程	ビジュアルアート科 3年制		112	10	
	ビジュアルアート科 2年制		75	7	
文化教養専門課程	オーバル・アーツ学科	通信	100	4	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HPトップ学校情報公開→授業科目等の概要 https://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	長野美術専門学校
設置者名	学校法人クリエイティブA

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HPトップ学校情報公開→法人理事名簿
<https://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	市議会議員	2023年4月1日～ 2027年3月31日	地域の要望・情勢の把握
非常勤	デザイン制作会社 代表取締役	2023年4月1日～ 2027年3月31日	業界の求めるスキル等の 提言・助言
非常勤	映像系会社 代表	2023年4月1日～ 2027年3月31日	業界の求めるスキル等の 提言・助言
非常勤	企画・編集室 代表	2023年4月1日～ 2027年3月31日	業界の求めるスキル等の 提言・助言
(備考)			

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	長野美術専門学校
設置者名	学校法人クリエイティブA

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	教育課程編成委員会
役割	専攻分野に関する企業、関係施設、関係団体等との連携による専門分野の動向や必要となる知識・技術・技能について、本委員会にて把握・分析し、授業科目の設置や授業方法の改善策を策定することで、本校の専門課程における実践的な職業教育の教育課程の編成に反映させることを目的としている。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
長野県デザイン振興協会理事・事務局長	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日	業界全体の動向や地域の産業振興に関する知識を有する業界団体の役職員
雑貨及び飲食店の経営並びにコンサルティング代表取締役	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日	実務に関する知識、技術及び技能について知見を有する企業の役職員
建築設計事務所代表取締役	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日	実務に関する知識、技術及び技能について知見を有する企業の役職員
デザイン制作会社アートディレクター	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日	実務に関する知識、技術及び技能について知見を有する企業の役職員
印刷及びパッケージデザイン会社 専務取締役	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日	実務に関する知識、技術及び技能について知見を有する企業の役職員
（備考）		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	長野美術専門学校
設置者名	学校法人クリエイティブA

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 1 シラバスの作成過程(プロセス) 1) 年度ごと、各授業終了後より担当教員による見直しを行う。 2) 副校長より教育課程編成委員会へ報告。 授業内容、記載内容の検討(授業科目の設置、授業方法の改善策)。 3) 上記を経て、教育課程の編成に反映。 教務方針と合わせて、教務長が全教員にシラバス作成を依頼。 必要により教科会議を開催。 4) 教員から提出されたシラバスを教務内でまとめ冊子(PDF)とする。 5) HP上に公開、及び全科目のシラバスを印刷・製本。 6) 年度はじめに、学生に配布・読み合せを行う。 2 シラバス作成時期 2月1日から3月20日まで 3 公表時期 4月1日	
授業計画書の公表方法	HPトップ学校情報公開→授業科目等の概要 https://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/ HPトップ学校情報公開→シラバス

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)
成績の評価及び履修認定に関する規程は次のとおり

- 長野美術専門学校学則第6章第21条 教育課程等について
 - 学則第6章第22条 単位の計算方法について
 - 学則第6章第23条 単位の認定及び成績の評価について
 - 学則第6章第24条 面接による指導体制について
 - 学則第6章第26条 課程終了の認定について
 - 学則第6章第27条 卒業証書ならびに称号の授与について

- 長野美術専門学校履修規程

第9条 単位認定

各授業科目の学業成績評価により行われている

第10条 学業成績の評価

観点別評価を採用し、評価の観点として四項目を設定し、試験・出欠状況・修学状況により、四段階の評価をしている。シラバスに評価基準・評価方法を明示している。

- 長野美術専門学校令和8年度シラバス記載内容

授業科目種、単位数、開講期、担当教員、授業概要、授業方法、授業目標、評価方法、授業計画等、授業科目等の概要について記載されている

以上のように、それぞれの規定等に記載されており、各学年の学修成果に基づき、あらかじめ設定した成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に単位授与及び履修認定を実施している。

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

- ・ G P A等の客観的な指標の設定
- ・ G P A等の客観的な指標の公表
- ・ 上記等により、成績の分布状況の適切な把握の実施

成績評価の適切な実施に係る取組の概要

1) 本校の成績評価に関しては、絶対評価を採用しているが、担当教員(評価者)は授業ごとにシラバスにて評価基準をあらかじめ明示し、客観的な成績評価に努めている。学生には、履修登録前の履修登録プログラムにてこれを周知しHP上でも公開する。

シラバス掲載観点別評価表(成績別評価基準)

観点別 評価	評価の観点	知識・ 創意・ 観点	技能・ 成果	意欲・ 自主 性・姿 勢	目 的 意識・ 共 感 性	合 計 (点)
	評価方法(例)					
	制作物					
	受講態度(出席等を含む)					
	合計(点)					

2) 本校の成績の評価基準については、「観点別評価」を採用し、「評価の観点」として、「知識・創意・観点」「技能・成果」「意欲・自主性・姿勢」「目的意識・共感性」の四項目を設定し、さらに「評価方法」として、授業内における制作や提出物、受講態度や出席状況などから、合計100点満点から減点方式で算出する。さらに、成績通知書・学業成績証明書における四段階評価は、100～80点を「優」、79～70点を「良」、69～60点を「可」、59～「不可」と定めており、これに則り各学生へ通知する。

四段階評価

評価	評価点	G P	可否
優	80点以上100点	4点	合格
良	70点以上80点未満	3点	合格
可	60点以上70点未満	2点	合格
不可	0点以上60点未満	0点	不合格

3) 本校の成績の分布については、学科・年次ごと四段階評価におけるG Pから次の算式で判定し、それぞれの適切な成績評価を実施し、学生には、指導の指針としHP上においても公開する。

算出式

$$G P A = (A \text{ 科目成績} \times \text{単位数}) + (B \text{ 科目成績} \times \text{単位数}) + (C \text{ 科目} \dots) + \dots$$

総単位数(全科目の単位の合計)

客観的な指標の
算出方法の公表方法

HPトップ学校情報公開→履修規程
<https://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

○卒業認定・専門士授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

長野美術専門学校は、教育理念に「目的に対し自由な精神で立ち向かう主体性を持った人間」の育成像を掲げています。本校では、こうした人間育成のため、教育目標を以下のとおり定め、これらを身に付けた者の卒業を認めます。

1. 構想力

自由で正しい造形を思考できる

2. 主体性

目的を自覚し自律的に活動できる

3. 展開力

自己が周囲に及ぼす成果を追求できる

○各学科における卒業認定・専門士授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

長野美術専門学校では、ディプロマ・ポリシーに定める人間育成の目的達成のため、すべての学科ごとに方針を設けています。

com. デザイン総合学科 ディプロマ・ポリシー：

クリエイティブの本来性を探求し、多様な領域で活躍できる能力の獲得

ーこれからの社会を幅広いデザインワークでリードする力をつける

〔この学科でつける力〕

com. デザイン総合学科では、幅広いデザインワークを学びます。卒業までに、新しい時代を切り拓く人間として、本来的で多様なデザイン力を身につけていきます。

そして、本校のディプロマ・ポリシーに従い「クリエイティブの本来性を追求し、多様な領域で活躍できる能力の獲得ーこれからの社会を幅広いデザインワークでリードする力をつける」を学科の方針とし、クリエイティブ業界のみならず、デザイン力が求められる広い領域で活躍する能力として、次の力を身につけます。

1. 本来的にデザイン分野が有する社会基盤（造形・商業・工学）的な思考法と、その基礎技能

2. 制作実技等を通じて養う、分析力や思考力、判断力や表現力

3. 制作課題等を通じ自らの問題意識をもとに多様な情報を収集し、活用できる課題解決力

4. 1、2、3を総合し、課題に対して自律的に取り組む計画力と実行力

5. 新しい価値を社会に創出する力

6. 5に加え、自発的なプランを、他者を巻き込みながら社会へ実装させようとする力

7. PBL のグループワークや長期インターンシップ等を通じた、協働的な実践力

ビジュアルデザイン科 3年制 ディプロマ・ポリシー

視覚情報のデザインによって、物事を新たに考案する能力の獲得

ーデザイン全般に関わる基礎力を確実なものにし、自身で切り拓く力をつける

〔この学科でつける力〕

ビジュアルデザイン科 3年制では、視覚的なデザインワークを学びます。卒業までに、新しい時代を切り拓く人間として、必要な基礎力を身につけていきます。

そして、本校のディプロマ・ポリシーに従い「視覚情報のデザインによって、物事を新

たに考案する能力の獲得ーデザイン全般に関わる基礎力を確かなものにし、自身で切り拓く力をつける」を学科の方針とし、クリエイティブ業界をはじめとしたデザイン力が求められる広い領域で活躍する能力として、次の力を身につけます。

1. デザインをはじめとしたクリエイティブに関わる専門的で幅広い、確かな基礎技能
2. 制作実技等を通じて養う、分析力や思考力、判断力や表現力
3. 制作課題等を通じ自らの問題意識をもとに多様な情報を収集し、活用できる課題解決力
4. 1、2、3を総合し、課題に対して自律的に取り組む実行力
5. 新たな価値を広く社会に創出する能力
6. PBL のグループワークや、長期インターンシップ等を通じた、協働的な実践力

ビジュアルデザイン科2年制 ディプロマ・ポリシー：

視覚情報のデザインによって、物事を新たに考案する能力の獲得ーデザイン全般に関わる基礎力を養い、社会の要請に正しく応える力をつける
[この学科でつける力]

ビジュアルデザイン科2年制では、視覚的なデザインワークを学びます。卒業までに、新しい時代を切り拓く人間として、必要な基礎力を身につけていきます。

そして、本校のディプロマ・ポリシーに従い「視覚情報のデザインによって、物事を新たに考案する能力の獲得ーデザイン全般に関わる基礎力を養い、社会の要請に正しく応える力をつける」を学科の方針とし、デザインなどクリエイティブ業界を中心に活躍する能力として、次の力を身につけます。

1. デザインに関わる専門的な基礎技能
2. 制作実技等を通じて養う、分析力や思考力、判断力や表現力
3. 制作課題等を通じ自らの問題意識をもとに多様な情報を収集し、活用できる課題解決力
4. 1、2、3を総合し、課題に対して自律的に取り組む実行力
5. 新たな価値を広く社会に創出する能力
6. PBL のグループワーク等を通じた、協働的な実践力

ビジュアルアート科3年制ディプロマ・ポリシー：

幅広いアート表現によって、作品を造形する能力の獲得ー展示企画の実行や市場への流通をとおり、作品を社会へ接続する力をつける
[この学科でつける力]

ビジュアルアート科3年制では、アートワークを学びます。卒業までに、新しい時代を切り拓く人間として、必要な基礎力を身につけていきます。

そして、本校のディプロマ・ポリシーに従い「幅広いアート表現によって、作品を造形する能力の獲得ー展示企画の実行や市場への流通をとおり、作品を社会へ接続する力をつける」を学科の方針とし社会との関係性の中で自身のアーティストや作家としてのアイデンティティを獲得するための能力として、次の力を身につけます。

1. デザイン技能に基づく PC 等の基礎技能
2. 制作実技などにおいて、自ら問題意識を通じ、社会の根本的問題に触れ、作品とし

て結実させる力

3. 1、2を総合し、課題に対して自律的に取り組める実行力
4. 新しい価値を社会に創出する力
5. グループワーク等を通した、同じ目的に対し共に取り組む力
6. 市場のトレンドを分析し、自分の作品を社会に流通させる力

ビジュアルアート科2年制 ディプロマ・ポリシー：

幅広いアート表現によって、作品を造形する能力の獲得

ー制作や作品をとおり表現の可能性を広げ、社会へつなげる

〔この学科でつける力〕

ビジュアルアート科2年制では、アートワークを学びます。卒業までに、新しい時代を切り拓く人間として、必要な基礎力を身につけていきます。

そして、本校のディプロマ・ポリシーに従い「幅広いアート表現によって、作品を造形する能力の獲得ー制作や作品をとおり表現の可能性を広げ、社会へつなげる」を学科の方針とし、主体的な制作活動が続けられる能力として、次の力を身につけます。

1. デザイン技能に基づく PC 等の基礎技能
2. 制作実技などにおいて、自ら問題意識を通じ、社会の根本的問題に触れ、作品として結実させる力
3. 1、2を総合し、課題に対して自律的に取り組める実行力
4. 新しい価値を社会に創出する力
5. グループワーク等を通した、同じ目的に対し共に取り組む力

オーバル・アーツ学科 ディプロマ・ポリシー：

自己の問いを起点に、創造できる力を獲得

ー専門性を横断して自分の考えで、あたらしさを構築する力をつける

〔この学科でつける力〕

オーバル・アーツ学科では、領域にとらわれない横断的な創作活動を通じて、自己の問いを深めながら表現・思考を往還する力を学びます。卒業までに、新しい時代を切り拓く人間として必要な基礎力を身につけていきます。

そして、本校のディプロマ・ポリシーに従い「自己の問いを起点に、創造できる力の獲得ー専門性を横断し、自らの思考によって新たな価値を構築する力をつける」を学科の方針とし、分野横断的に創造活動を展開できる能力として、次の力を身につけます。

1. 多様な表現領域にまたがる基礎的な知識および技能
2. 自己の問題意識を起点に問いを設定し、探求を深める思考力
3. 多様な情報を収集・分析し、横断的に活用する構想力および課題解決力
4. 1、2、3を総合し、自律的に制作・実践へと展開する実行力
5. 既存の枠組みにとらわれず、新たな価値を社会に提案・創出する力
6. 他者との協働や対話を通じて、創造を発展させる実践力

卒業の認定に関する
方針の公表方法

HPトップ学校情報公開→卒業の認定に関する方針
<https://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	長野美術専門学校
設置者名	学校法人クリエイティブA

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	HPトップ学校情報公開→財務状況 https://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/
収支計算書又は損益計算書	HPトップ学校情報公開→財務状況 https://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/
財産目録	HPトップ学校情報公開→財務状況 https://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/
事業報告書	HPトップ学校情報公開→事業報告書 https://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/
監事による監査報告（書）	HPトップ学校情報公開→財務状況 https://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名		学科名		専門士	高度専門士	
文化・教養		文化教養専門課程		com. デザイン総合学科			○	
修業 年限	昼 夜	全課程の修了に必要な総単 位数		開設している授業の種類				
				講義	演習	実習	実験	実技
4 年	昼	124 単位		32 単位	19 単位			168 単位
				219 単位				
学生総定員 数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
20 人		14 人	0 人	9 人	25 人	34 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
（概要） HP トップ情報公開→授業科目等の概要 参照 https://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/ HP トップ情報公開→シラバス 参照 https://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/			
成績評価の基準・方法			
（概要） 成績の評価は、「観点別評価」を採用し、「評価の観点」として、「知識・創意・観点」「技能・成果」「意欲・自主性・姿勢」「目的意識・共感性」の四項目を設定し、試験、制作課題に対しての制作物、レポート等の成績、出欠状況、平素の修学状況等により、「優」「良」「可」を合格、「不可」を不合格とし、原則として以下の基準とする。			
評価	評価点	G P	可否
優	80 点以上 100 点	4 点	合格
良	70 点以上 80 点未満	3 点	合格
可	60 点以上 70 点未満	2 点	合格
不可	0 点以上 60 点未満	0 点	不合格
成績の評価については、教科ごとの観点別評価を設定し、予めシラバスに評価基準と評価方法を明示するものとする。			
卒業・進級の認定基準			
（概要） 卒業・修了の要件を満たすためには、修業年限以上在籍し、次の表に掲げる単位数を修得しなければならない。			
学科	修業年限	修得単位	
com. デザイン総合学科	4 年	124	

学修支援等
(概要) 学生の修学上の問題解決に役立てるため、以下の方策をとる。 ・修学コーディネーターを配置し、修学相談、保護者相談に応じる。 ・校内にサポートカウンターを設置し、授業等に関する質問、各種相談の窓口とする。 ・その他の教職員は、学生の状況を把握し、修学コーディネーターとの情報共有をする。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0 人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) 教科科目による全学生への指導の充実に加え、教務にキャリア支援を主に担当する教員を配置して、個別対応を可能としている。「美専進路説明会」を年度内4回以上設け、地域ハローワーク担当者による面接指導や、履歴書添削及び企業から人事担当者を招き、職種や職務内容、必要とされるスキル等を説明していただく機会としている。又、卒業生や職業人から、職業現場や業界の実情、働く姿勢などを聞き取る「クリエイターインタビュー」を実施している。加えて、県内企業の協力のもと、実際の現場を体験できる機会として、1年次より選択可能な授業「インターンシップ」等を設け、各年次の学修段階に応じた実践的な学びを提供している。これらを通して、職業意識の向上を図っている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 色彩士検定3級 100%/日本語検定3級 100%/レタリング技能検定3級 75% 美術検定4級 100%/ビジネス能力検定3級 50%/ビジネス能力検定2級 100% Illustrator クリエイター能力検定 80%/Photoshop クリエイター能力検定 80% ブランドマネージャー資格検定3級 100%/ゲームイラスト検定2段 100% ゲームイラスト検定1級 100%			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
12 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生の修学上の問題解決に役立てるため、以下の方策をとる。 ・修学コーディネーターを配置し、修学相談、保護者相談に応じる。 ・校内にサポートカウンターを設置し、授業等に関する質問、各種相談の窓口とする。 ・その他の教職員は、学生の状況を把握し、修学コーディネーターとの情報共有をする。		

分野		課程名		学科名		専門士	高度専門士	
文化・教養		文化教養専門課程		ビジュアルデザイン科 3年制		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
3年	昼	93 単位	29 単位	17 単位			108 単位	
			154 単位					
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数	
30 人		16 人	0 人	9 人	25 人		33 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
（概要） HPトップ情報公開→授業科目等の概要 参照 https://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/ HPトップ情報公開→シラバス 参照 https://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/			
成績評価の基準・方法			
（概要） 成績の評価は、「観点別評価」を採用し、「評価の観点」として、「知識・創意・観点」「技能・成果」「意欲・自主性・姿勢」「目的意識・共感性」の四項目を設定し、試験、制作課題に対しての制作物、レポート等の成績、出欠状況、平素の修学状況等により、「優」「良」「可」を合格、「不可」を不合格とし、原則として以下の基準とする。			
評価	評価点	G P	可否
優	80点以上 100点	4点	合格
良	70点以上 80点未満	3点	合格
可	60点以上 70点未満	2点	合格
不可	0点以上 60点未満	0点	不合格
成績の評価については、教科ごとの観点別評価を設定し、予めシラバスに評価基準と評価方法を明示するものとする。			
卒業・進級の認定基準			
（概要） 卒業・修了の要件を満たすためには、修業年限以上在籍し、次の表に掲げる単位数を修得しなければならない。			
学科	修業年限	修得単位	
ビジュアルデザイン科 3年制	3年	93	

学修支援等
(概要) 学生の修学上の問題解決に役立てるため、以下の方策をとる。 ・ 修学コーディネーターを配置し、修学相談、保護者相談に応じる。 ・ 校内にサポートカウンターを設置し、授業等に関する質問、各種相談の窓口とする。 ・ その他の教職員は、学生の状況を把握し、修学コーディネーターとの情報共有をする。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
5 人 (100%)	0 人 (0%)	5 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) グラフィックデザイナー、印刷会社オペレーター、ホテルスタッフ、観光局企画、印刷会社新規事業部			
(就職指導内容) 教科科目による全学生への指導の充実に加え、教務にキャリア支援を主に担当する教員を配置して、個別対応を可能としている。「美専進路説明会」を年度内4回以上設け、地域ハローワーク担当者による面接指導や、履歴書添削及び企業から人事担当者を招き、職種や職務内容、必要とされるスキル等を説明していただく機会としている。又、卒業生や職業人から、職業現場や業界の実情、働く姿勢などを聞き取る「クリエイターインタビュー」を実施している。加えて、県内企業の協力のもと、実際の現場を体験できる機会として、1年次より選択可能な授業「インターンシップ」等を設け、各年次の学修段階に応じた実践的な学びを提供している。これらを通して、職業意識の向上を図っている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 色彩士検定3級 100%/日本語検定3級 100%/レタリング技能検定3級 0% レタリング技能検定2級 0%/ビジネス能力検定3級 75% Illustrator クリエイター能力検定 100%/Photoshop クリエイター能力検定 75% フォトマスター検定3級 50%			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生の修学上の問題解決に役立てるため、以下の方策をとる。 ・ 修学コーディネーターを配置し、修学相談、保護者相談に応じる。 ・ 校内にサポートカウンターを設置し、授業等に関する質問、各種相談の窓口とする。 ・ その他の教職員は、学生の状況を把握し、修学コーディネーターとの情報共有をする。		

分野		課程名		学科名		専門士	高度専門士	
文化・教養		文化教養専門課程		ビジュアルデザイン科 2 年制		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	62 単位	22 単位	13 単位			66 単位	
			101 単位					
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数	
40 人		24 人	0 人	9 人	21 人		30 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
（概要） HP トップ情報公開→授業科目等の概要 参照 https://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/ HP トップ情報公開→シラバス 参照 https://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/			
成績評価の基準・方法			
（概要） 成績の評価は、「観点別評価」を採用し、「評価の観点」として、「知識・創意・観点」「技能・成果」「意欲・自主性・姿勢」「目的意識・共感性」の四項目を設定し、試験、制作課題に対しての制作物、レポート等の成績、出欠状況、平素の修学状況等により、「優」「良」「可」を合格、「不可」を不合格とし、原則として以下の基準とする。			
	評価	評価点	G P
	優	80 点以上 100 点	4 点
	良	70 点以上 80 点未満	3 点
	可	60 点以上 70 点未満	2 点
	不可	0 点以上 60 点未満	0 点
成績の評価については、教科ごとの観点別評価を設定し、予めシラバスに評価基準と評価方法を明示するものとする。			
卒業・進級の認定基準			
（概要） 卒業・修了の要件を満たすためには、修業年限以上在籍し、次の表に掲げる単位数を修得しなければならない。			
	学科	修業年限	修得単位
	ビジュアルデザイン科 2 年制	2 年	62

学修支援等
(概要) 学生の修学上の問題解決に役立てるため、以下の方策をとる。 ・修学コーディネーターを配置し、修学相談、保護者相談に応じる。 ・校内にサポートカウンターを設置し、授業等に関する質問、各種相談の窓口とする。 ・その他の教職員は、学生の状況を把握し、修学コーディネーターとの情報共有をする。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
8 人 (100%)	0 人 (0%)	7 人 (88%)	1 人 (12%)
(主な就職、業界等) 看板制作、営業事務、印刷会社、グラフィックデザイナー、商業写真・映像制作、デザイナー			
(就職指導内容) 教科科目による全学生への指導の充実に加え、教務にキャリア支援を主に担当する教員を配置して、個別対応を可能としている。「美専進路説明会」を年度内4回以上設け、地域ハローワーク担当者による面接指導や、履歴書添削及び企業から人事担当者を招き、職種や職務内容、必要とされるスキル等を説明していただく機会としている。又、卒業生や職業人から、職業現場や業界の実情、働く姿勢などを聞き取る「クリエイターインタビュー」を実施している。加えて、県内企業の協力のもと、実際の現場を体験できる機会として、1年次より選択可能な授業「インターンシップ」等を設け、各年次の学修段階に応じた実践的な学びを提供している。これらを通して、職業意識の向上を図っている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 色彩士検定3級 83%/色彩士検定2級 100%/日本語検定3級 91% レタリング技能検定3級 40%/美術検定4級 0% Illustrator クリエイター能力検定 83%/Photoshop クリエイター能力検定 17% フォトマスター検定3級 100%/ビジネス能力検定3級 63%			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
27 人	4 人	14%
(中途退学の主な理由) 学校生活不適応、心身不調、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生の修学上の問題解決に役立てるため、以下の方策をとる。 ・修学コーディネーターを配置し、修学相談、保護者相談に応じる。 ・校内にサポートカウンターを設置し、授業等に関する質問、各種相談の窓口とする。 ・その他の教職員は、学生の状況を把握し、修学コーディネーターとの情報共有をする。		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
文化・教養		文化教養専門課程	ビジュアルアート科 3年制		○		
修業 年限	昼 夜	全課程の修了に必要な総単 位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	93 単位	20 単位	14 単位			114 単位
			148 単位				
学生総定員 数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30 人		19 人	0 人	9 人	22 人	31 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

HPトップ情報公開→授業科目等の概要 参照

<https://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/>

HPトップ情報公開→シラバス 参照

<https://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/>

成績評価の基準・方法

（概要）

成績の評価は、「観点別評価」を採用し、「評価の観点」として、「知識・創意・観点」「技能・成果」「意欲・自主性・姿勢」「目的意識・共感性」の四項目を設定し、試験、制作課題に対しての制作物、レポート等の成績、出欠状況、平素の修学状況等により、「優」「良」「可」を合格、「不可」を不合格とし、原則として以下の基準とする。

評価	評価点	G P	合否
優	80 点以上 100 点	4 点	合格
良	70 点以上 80 点未満	3 点	合格
可	60 点以上 70 点未満	2 点	合格
不可	0 点以上 60 点未満	0 点	不合格

成績の評価については、教科ごとの観点別評価を設定し、予めシラバスに評価基準と評価方法を明示するものとする。

卒業・進級の認定基準

（概要）

卒業・修了の要件を満たすためには、修業年限以上在籍し、次の表に掲げる単位数を修得しなければならない。

学科	修業年限	修得単位
ビジュアルアート科 3 年制	3 年	93

学修支援等

（概要）

学生の修学上の問題解決に役立てるため、以下の方策をとる。

・修学コーディネーターを配置し、修学相談、保護者相談に応じる。

・校内にサポートカウンターを設置し、授業等に関する質問、各種相談の窓口とする。

・その他の教職員は、学生の状況を把握し、修学コーディネーターとの情報共有をする。
--

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
3 人 (100%)	0 人 (0%)	2 人 (67%)	1 人 (33%)
（主な就職、業界等） ものづくり総合職、ファクトリーサポート職			
（就職指導内容） 教科科目による全学生への指導の充実に加え、教務にキャリア支援を主に担当する教員を配置して、個別対応を可能としている。「美専進路説明会」を年度内4回以上設け、地域ハローワーク担当者による面接指導や、履歴書添削及び企業から人事担当者を招き、職種や職務内容、必要とされるスキル等を説明していただく機会としている。又、卒業生や職業人から、職業現場や業界の実情、働く姿勢などを聞き取る「クリエイターインタビュー」を実施している。加えて、県内企業の協力のもと、実際の現場を体験できる機会として、1年次より選択可能な授業「インターンシップ」等を設け、各年次の学修段階に応じた実践的な学びを提供している。これらを通して、職業意識の向上を図っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 色彩士検定3級 83%/日本語検定3級 100%/レタリング技能検定3級 100% 美術検定4級 83%/Illustrator クリエイター能力検定 75% Photoshop クリエイター能力検定 100%/フォトマスター検定3級 100% ビジネス能力検定3級 75%/ゲームイラスト検定1級 100%			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
15 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生の修学上の問題解決に役立てるため、以下の方策をとる。 ・修学コーディネーターを配置し、修学相談、保護者相談に応じる。 ・校内にサポートカウンターを設置し、授業等に関する質問、各種相談の窓口とする。 ・その他の教職員は、学生の状況を把握し、修学コーディネーターとの情報共有をする。		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
文化・教養		文化教養専門課程	ビジュアルアート科 2年制		○		
修業 年限	昼 夜	全課程の修了に必要な総単 位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	62 単位	14 単位	12 単位			74 単位
			100 単位				
学生総定員 数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		25 人	0 人	9 人	22 人	31 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

HPトップ情報公開→授業科目等の概要 参照

<https://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/>

HPトップ情報公開→シラバス 参照

<https://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/>

成績評価の基準・方法

（概要）

成績の評価は、「観点別評価」を採用し、「評価の観点」として、「知識・創意・観点」「技能・成果」「意欲・自主性・姿勢」「目的意識・共感性」の四項目を設定し、試験、制作課題に対しての制作物、レポート等の成績、出欠状況、平素の修学状況等により、「優」「良」「可」を合格、「不可」を不合格とし、原則として以下の基準とする。

評価	評価点	G P	合否
優	80 点以上 100 点	4 点	合格
良	70 点以上 80 点未満	3 点	合格
可	60 点以上 70 点未満	2 点	合格
不可	0 点以上 60 点未満	0 点	不合格

成績の評価については、教科ごとの観点別評価を設定し、予めシラバスに評価基準と評価方法を明示するものとする。

卒業・進級の認定基準

（概要）

卒業・修了の要件を満たすためには、修業年限以上在籍し、次の表に掲げる単位数を修得しなければならない。

学科	修業年限	修得単位
ビジュアルアート科 2 年制	2 年	62

学修支援等

（概要）

学生の修学上の問題解決に役立てるため、以下の方策をとる。

・修学コーディネーターを配置し、修学相談、保護者相談に応じる。

・校内にサポートカウンターを設置し、授業等に関する質問、各種相談の窓口とする。

・その他の教職員は、学生の状況を把握し、修学コーディネーターとの情報共有をする。
--

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
19 人 (100%)	0 人 (0%)	11 人 (58%)	8 人 (42%)
（主な就職、業界等） 総合職、一般職、セレモニースタッフ、製造エキスパート職、ホテルスタッフ、広報職 販売アドバイザー			
（就職指導内容） 教科科目による全学生への指導の充実に加え、教務にキャリア支援を主に担当する教員を配置して、個別対応を可能としている。「美専進路説明会」を年度内4回以上設け、地域ハローワーク担当者による面接指導や、履歴書添削及び企業から人事担当者を招き、職種や職務内容、必要とされるスキル等を説明していただく機会としている。又、卒業生や職業人から、職業現場や業界の実情、働く姿勢などを聞き取る「クリエイターインタビュー」を実施している。加えて、県内企業の協力のもと、実際の現場を体験できる機会として、1年次より選択可能な授業「インターンシップ」等を設け、各年次の学修段階に応じた実践的な学びを提供している。これらを通して、職業意識の向上を図っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 色彩士検定3級 84%/日本語検定3級 90%/レタリング技能検定3級 50% 美術検定4級 78%/ビジネス能力検定3級 63% Illustrator クリエイター能力検定 0%/Photoshop クリエイター能力検定 0%			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
38 人	1 人	3%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生の修学上の問題解決に役立てるため、以下の方策をとる。 ・修学コーディネーターを配置し、修学相談、保護者相談に応じる。 ・校内にサポートカウンターを設置し、授業等に関する質問、各種相談の窓口とする。 ・その他の教職員は、学生の状況を把握し、修学コーディネーターとの情報共有をする。		

分野		課程名		学科名		専門士	高度専門士	
文化・教養		文化教養専門課程		オーバル・アーツ学科		○		
修業 年限	昼 夜	全課程の修了に必要な総単 位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	通 信	62 単位	27 単位	6 単位			102 単位	
			135 単位					
学生総定員 数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
30 人		2 人	0 人	9 人	16 人	25 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）																				
（概要） HPトップ情報公開→授業科目等の概要 参照 https://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/ HPトップ情報公開→シラバス 参照 https://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/																				
成績評価の基準・方法																				
（概要） 成績の評価は、「観点別評価」を採用し、「評価の観点」として、「知識・創意・観点」「技能・成果」「意欲・自主性・姿勢」「目的意識・共感性」の四項目を設定し、試験、制作課題に対しての制作物、レポート等の成績、出欠状況、平素の修学状況等により、「優」「良」「可」を合格、「不可」を不合格とし、原則として以下の基準とする。																				
<table><tr><td>評価</td><td>評価点</td><td>G P</td><td>合否</td></tr><tr><td>優</td><td>80 点以上 100 点</td><td>4 点</td><td>合格</td></tr><tr><td>良</td><td>70 点以上 80 点未満</td><td>3 点</td><td>合格</td></tr><tr><td>可</td><td>60 点以上 70 点未満</td><td>2 点</td><td>合格</td></tr><tr><td>不可</td><td>0 点以上 60 点未満</td><td>0 点</td><td>不合格</td></tr></table>	評価	評価点	G P	合否	優	80 点以上 100 点	4 点	合格	良	70 点以上 80 点未満	3 点	合格	可	60 点以上 70 点未満	2 点	合格	不可	0 点以上 60 点未満	0 点	不合格
評価	評価点	G P	合否																	
優	80 点以上 100 点	4 点	合格																	
良	70 点以上 80 点未満	3 点	合格																	
可	60 点以上 70 点未満	2 点	合格																	
不可	0 点以上 60 点未満	0 点	不合格																	
成績の評価については、教科ごとの観点別評価を設定し、予めシラバスに評価基準と評価方法を明示するものとする。																				
卒業・進級の認定基準																				
（概要） 卒業・修了の要件を満たすためには、修業年限以上在籍し、次の表に掲げる単位数を修得しなければならない。																				
<table><tr><td>学科</td><td>修業年限</td><td>修得単位</td></tr><tr><td>オーバル・アーツ学科</td><td>2 年</td><td>62</td></tr></table>	学科	修業年限	修得単位	オーバル・アーツ学科	2 年	62														
学科	修業年限	修得単位																		
オーバル・アーツ学科	2 年	62																		
学修支援等																				
（概要） 学生の修学上の問題解決に役立てるため、以下の方策をとる。 ・学科の担当教員をひとり配置し、全ての学生の学びの進度の確認とサポートを行う。																				

・修学コーディネーターを専任し、修学相談、保護者相談に応じる。 ・校内にサポートカウンターを設置し、授業等に関する質問、各種相談の窓口とする。 ・その他の教職員は、学生の状況を把握し、修学コーディネーターとの情報共有をする。
--

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) 選択教科科目による指導の充実に加え、教務にキャリア支援を主に担当する教員を配置して、個別対応を可能としている。「美専進路説明会」を年度内4回以上設け、地域ハローワーク担当者による面接指導や、履歴書添削及び企業から人事担当者を招き、職種や職務内容、必要とされるスキル等を説明していただく機会としている。さらに、こうした進路活動の状況や学生の希望については、学科担当教員とも共有し、連携を図りながら継続的な支援に努める。			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考)（任意記載事項） 令和8年4月1日付学科設置のため、1年次生のみ在籍している。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	人	%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生の修学上の問題解決に役立てるため、以下の方策をとる。 ・学科の担当教員をひとり配置し、学びに対するサポートとケアを行う。 ・修学コーディネーターを専任し、修学相談、保護者相談に応じる。 ・校内にサポートカウンターを設置し、授業等に関する質問、各種相談の窓口とする。 ・その他の教職員は、学生の状況を把握し、修学コーディネーターとの情報共有をする		

②学校単位の情報

a)「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載 事項)
com. デザイン総合学科	240,000 円	750,000 円	270,000 円	施設設備費含む
ビジュアルデザイン科 3 年制	240,000 円	750,000 円	270,000 円	施設設備費含む
ビジュアルデザイン科 2 年制	240,000 円	750,000 円	270,000 円	施設設備費含む
ビジュアルアート科 3 年制	240,000 円	750,000 円	270,000 円	施設設備費含む
ビジュアルアート科 2 年制	240,000 円	750,000 円	270,000 円	施設設備費含む
オーバル・アーツ学科	240,000 円	750,000 円	100,000 円	施設設備費含む
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) HP トップ学校情報公開→学校自己点検・評価報告書 https://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/
第三者評価の基本方針(実施方法・体制)
・基本方針 本校と連携授業等で関係している企業や学識経験者、本校学生保護者、卒業生から選ばれた委員による学校関係者評価委員会を設置し、本校の自己点検・評価の結果が適切かどうか、またその結果を踏まえた今後の改善施策が適切化どうか等の評価を行い、今後の学校運営改善ための参考とする。 ・学校関係者評価委委員の構成 - 一 若年者の就職動向やキャリア教育に関する知識を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の関係者 - 二 地域産業における動向等の知識及び本校教育内容に関する知識、技術、技能について知見を有する専攻分野に関する企業、関係施設、関係団体等の関係者 - 三 地域住民 - 四 本校出身学生の保護者 - 五 本校の卒業生 - 六 その他学校長が必要と認めた者 ※前項の一、二、三の内からは2名以上選任するものとする。 ※委員の人数は原則として4名から10名までとする。

・評価項目 (1)教育理念・目標 (2)学校運営 (3)教育活動 (4)学修成果 (5)学生支援 (6)教育環境 (7)学生の受け入れ募集 (8)財務 (9)法令等の遵守 (10)社会貢献・地域貢献 ・学校関係者評価結果の活用状況 評価結果は「学校関係者評価報告書」としてまとめ、その内容について広く公表周知していくとともに、以後、学校運営のために計画的に活用している。		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
キャリアに関するプログラム開発・調査研究機関	2026年4月1日～ 2027年3月31日	調査研究機関の関係者
印刷、出版、Web デジタルソリューション、地域プロモーション支援企業	2026年4月1日～ 2027年3月31日	専攻分野に関する企業の関係者
ネットワーク構築コンサルティング及び情報機器取扱い企業	2026年4月1日～ 2027年3月31日	専攻分野に関する企業の関係者
在校生保護者	2026年4月1日～ 2027年3月31日	本校学生の保護者
本校卒業生	2026年4月1日～ 2027年3月31日	本校の卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) HP トップ学校情報公開→学校関係者評価報告書 https://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/		
(備考)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.n-bisen.ac.jp/
